

育成モノづくり人材

Vol. 62

埼玉県立川口工業高校

映画『キューポラの
ある街』の舞台にな
り、鋳物の街として知
られる埼玉県川口市。



長谷川校長

創立80周年を迎えた埼
玉県立川口工業高校
は、地域産業の発展に
寄与できる技術者の育
成を目指す。「地学地
線施工技能士や電気工
就」を理念に掲げる。事
生徒の就職先の8割が
県内企業。長谷川仁校
会が多いため、相談し

地学地就 協力100社で実習

長は「理念の体現は、
地域の協力があってこ
そ。地元の期待に応え
たい」と胸を張る。
学科構成は定時制を
含めて計4科。女子生
徒は全体で約8%だ

長谷川校長は「優秀な
技術を持つ女子生徒は
引く手あまた」と、
川口商工会議所や川口
鋳物工業協同組合、川
口機械工業協同組合な
らと連携し、1年生は
小中学生に対し体験

【DATA】▷校長=長谷川仁氏
▷所在地=埼玉県川口市▷学科構
成=機械科、電気科、情報通信
科、工業技術科(定時制)▷生徒
総数=全日制624人、定時制85人
▷主要設備=マシニングセンタ
ー、フライス盤、ホブ盤、鋳造設
備、高電圧実験設備など▷主な進
路=伊藤製パン、NTT-ME、
鹿島建物総合管理、西武鉄道、日
本工業大学、東京電機大学など

高度技術者か
ら旋盤や溶接
などの実践的
指導を受け
る。地元企業
の協力のもと
2年生全員が
11月に3日間
のインターン
シップ(就業
体験)に取り



地元企業の期待に応えるため熱心に技術を磨く

組む。協力企業は金型
工場など100社。長
谷川校長は「働くこと
の大変さと面白さを学
べる。実習経験を生か
せる良い機会」と話す。
入学の手伝いや科学モ
ノづくり教室の手伝
い、出前授業なども行
は、機械研究部が16
年、燃費の限界に挑戦
する全国エコカー大会
「本田宗一郎杯 HO
nda エコマイレ
ッジ チャレンジ」高
校生部門で全国3位に
輝いた。1台当たり1
675キロの燃費を記
録。車体には炭素繊維
強化プラスチック(C
FRP)を使う。時間
とコストをかけ、生徒
が従来より薄くて軽い
エコカーを製作した。
例年100人程度の
就職希望者に対して約
10倍の求人がある。長
谷川校長は「学んだモ
ノづくり技術を生かし
て活躍し、日本のモノ
づくりの伝統を継承し
てほしい」と生徒に期
待をかける。
(さいたま・石井芽
(金曜日)掲載)